

赤座氏遺書

一 赤座弥助と申者、越前清水谷住人、後濃州へ

参、齋藤山城守殿江罷出、赤座七郎右衛門と申、尾州

織田岩倉殿聳二成、其後筑前と申、織田

城之助様江罷出、京都西ノ洞院本能寺討死ス、

一 赤座筑前長男同又左衛門と申、濃州更木村ニ
住居仕候、

一 同又左衛門長男同太郎右衛門申、池田三左衛門様へ罷出、
知行千石被下、後同主殿と申、其子孫尔今

松平相模守様へ罷在候、

一 同又左衛門二男源右衛門と申者、更木村ニ住居仕候、

一同源右衛門と申同村住ス、同源右衛門同村住ス、

右之筑前子男子数多御座候而、尔今方々ニ奉公

仕罷在候、森美作殿ニも赤座主殿と申御奉公相

勤罷在候、知行三千弍百石被下、只今罷在候、遠

国ニ御座候得ハ、浪人仕候も又者相果候も近年便

宜不承候、

享保二丁酉歳 赤座平蔵写之、

八月日 本紙源五左右門ニ有之、